

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査に係る結果の概要等について

令和7年3月 日
帯広市立稲田小学校

令和6年4月から7月末までに実施された全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本校児童の結果概要及び取組の成果や課題についてお知らせします。

なお、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的及び対象等につきましては、次のとおりです。

- 〔目的〕**
- 国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、児童生徒の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - 各教育委員会が、児童生徒の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、児童生徒の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 - 各学校が児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

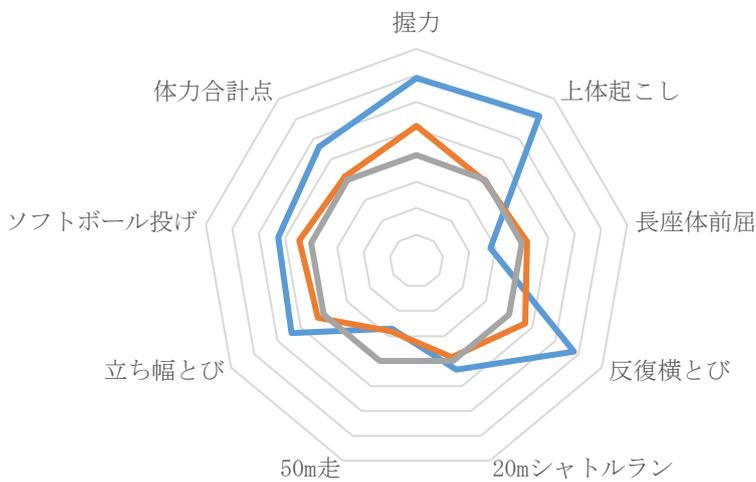
〔対象〕 小学校第5学年

〔内容〕

- 実技に関する調査：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げの8種目

- 質問紙調査

男子



(1) 体力合計点

○全国平均と比べて上回った。

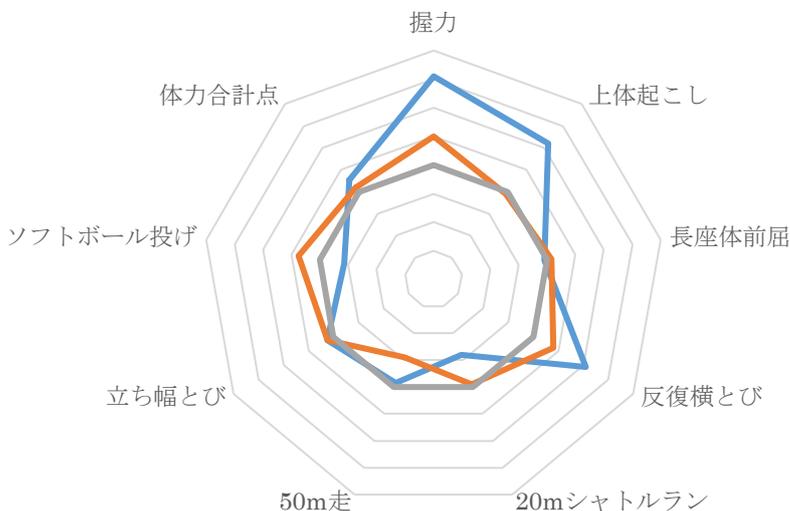
(2) 各種目の記録

- 「握力」「上体起こし」「反復横とび」の3種目が全国平均を大きく上回った。
- 「20m シャトルラン」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」の3種目が全国平均を上回った。
- ▲ 「長座体前屈」「50m 走」の2種目が全国平均を下回った。

(3) 考察 (上記 (1)、(2) から)

今年度、冬期間の積雪寒冷期間による運動機会の減少による影響が見られる種目については、6～7月の実施としたことで、授業改善や体力向上の取組が調査結果に反映できるようになったと考えられる。

女子



(1) 体力合計点

○全国平均と比べて上回った。

(2) 各種目の記録

- 「握力」が全国平均を大きく上回った。
- 「上体起こし」「反復横とび」「立ち幅とび」の3種目が全国平均を上回った。
- ▲ 「長座体前屈」「20m シャトルラン」「50m 走」「ソフトボール投げ」の4種目が全国平均を下回った。

(3) 考察 (上記 (1)、(2) から)

今年度、新体力テスト実施にかかるポイントを捉えて、実技を行う取組を進めたことにより、前年度から大きく体力合計点が向上するなど、成果が見られた。次年度も、ポイントを捉えて、実技を行う取組を継続していく。

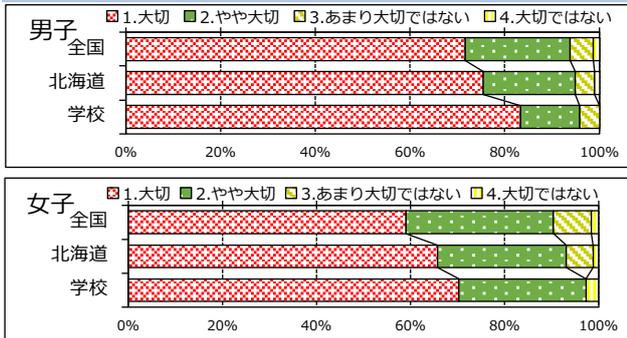
— 稲田小学校 — 北海道 (公立) — 全国 (公立)

児童質問紙

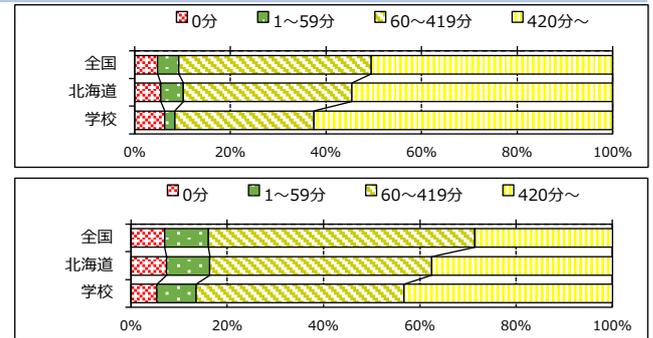
運動習慣や体育の授業等に関する18の質問の中から、本校児童の特徴的な回答について、次のとおりお知らせします。

運動習慣・生活習慣に関する項目

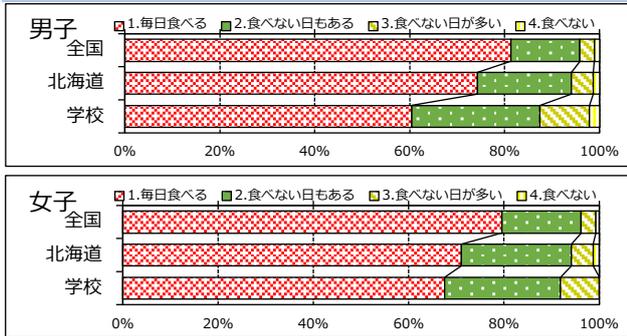
運動やスポーツは大切ですか



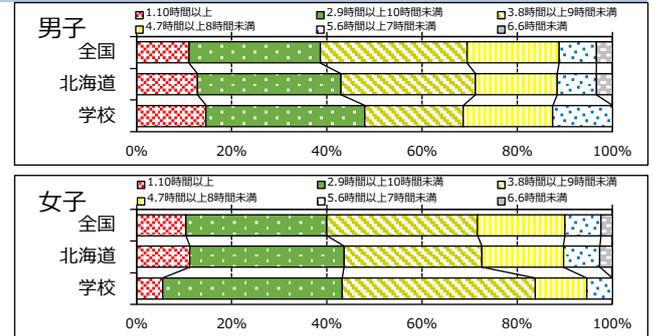
1週間の総運動時間



朝食は毎日食べますか

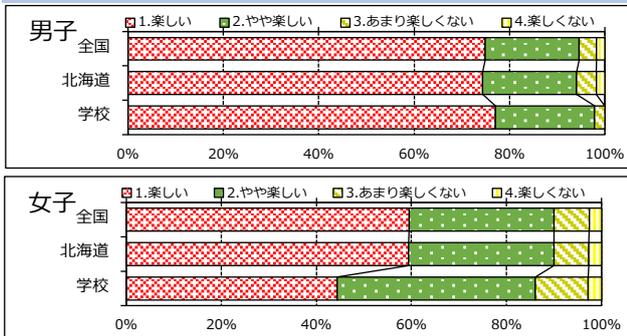


毎日どのくらい寝ますか

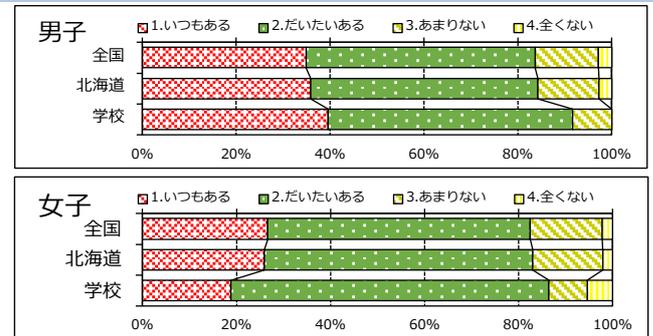


体育の授業に関する項目

体育の授業は楽しいですか



体育で、目標を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。



- 「運動やスポーツは大切」と考えている児童の割合が全国・全道を上回っており、それが「1週間の総運動時間」の増加につながっていると考えられる。
- ▲朝食を欠食する児童の割合が全国・全道を上回っており、家庭と連携した望ましい生活習慣の形成を図る必要がある。
- 体育の授業において、目標を意識した学習をすることにより「できた」実感をもつ児童の割合が全国・全道を上回っている。

体力向上の取組について

前述したとおり、冬期間の積雪寒冷期間による運動機会の減少による影響が見られることから、新体力テストの実施時期を6～7月としたことにより、これまでの授業改善や各種取組が調査結果として適切に反映された結果が出たと考えている。また、要領をとらえさせた実技の実施も、体力の向上につながる取組として考えている。

今後も、日常的な体育授業の改善を進めるとともに、家庭と連携した望ましい生活習慣の形成に努めていきたい。また、実施方法の改善策についても検討しており、児童の体力を適切に発揮できる環境や方法での実施を進めていく。